

札幌学院大学



Sapporo Gakuin University

学園広報

1992. 3. 1 No.51

編集・発行 札幌学院大学 企画調査室 〒069 北海道江別市文京台11番地 電話 (011) 386-8111

6学部7学科の文系総合大学



21世紀に向けての教育を

一層の充実を期す

平成三年四月、社会情報学部、経済学部がスタートしてから早や一年、本学は名実ともに、文系総合大学としての地歩を固めつつある。開学から四半世紀その発展のさまは、まことに目覚ましく、いま道内屈指の規模の私大に成長した。

神は、本学の教育方針に脈々とひきつがれている。きめこまかな少人数教育、学生の自主性の尊重、実験、実習、研究等、本学が誇る教育内容・

志願者数一万五千名を突破

二年連続・道内私大最大の志願者

十八才人口のピークを迎えた平成四年度の志願者数は、道内私大として初めて二万、〇〇〇名を突破する過去最高を記録し、同時に二年連続道内私大最大の志願者数となった。

表1 平成4年度一般入学試験出願状況

Table with columns: 学部・学科, 志願者数 (推薦除く), '92年度, 倍率, '91年度, 対前年. Rows include faculties like 商学部, 経済学部, etc.

表2 平成4年度推薦入学試験結果

Table with columns: 学部・学科, 志願者数, 合格者数, 倍率. Rows include faculties like 商学部, 経済学部, etc.

平成四年度 学費改訂について

去る平成三年十二月七日に開催された第九十六回理事会において臨時定員増を実施する運びとなっている。

Table showing tuition fees for various faculties: ①商学部第一部・人文学部・法学部・経済学部, ②社会情報学部, ③商学部第二部.

海外レポート



ネルソン・マンデラの肖像を横にして(法学部3年国際法ゼミ・今井慎子さん撮す)

英国で「アフリカの国際人権」を研究するのは迅速な印象を免れません。しかし、旧英領植民地に関する資料はロンドンに集中しています。

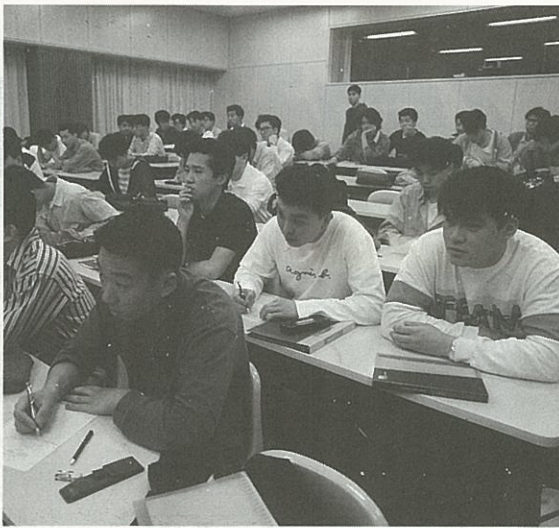
新時代に適合した商学の研究と教育

＝社会をリードする商学部をめざして＝

理論と実践重視の教育

商学部は、国際経済・国民経済を構成する個別企業の経営・会計ならびに流通問題に関する理論的・実践的研究と教育を行っている学部です。

本学商学部のルーツは、昭和二年、北の商都札幌での札幌文科専門学院の創設と共に誕生し、その後、札幌短期大学商学科、札幌商科大学商学部として札幌学院大学商学部へと四五年の歴史を持つ



研究対象とする「会計学」とか「商学」の歴史は、商品の国内取引活動および国外取引活動(貿易)にかかわる理論と実践の研究から始まっており、向を踏まえて、商学部の教育では、企業および経営に関する理論と実践を基礎理論から応用理論まで学ぶ「経営学」の把握と計数的思考のため、経営計算制度の理論と実践を学ぶ「会計学」および商品の流通過程に「流通学」を学ぶ「流通学」を置くことに注力して、専門的学習を体系的・効率的に、深く学習できるように、特定コースを重点的に学習しながら他コースも広く学習できる教育課程・教育方法として導入したものです。

「ふれあい」語の合いを大切に

計学をメインとする商学の広範な分野にわたる職業的実務教育が重視され、高度情報化社会に対応すべくコンピュータ教育にも力を注いでいます。また本学部教育の特徴の一つとして小人数教育が徹底されており、特に一年次から四年次までの一貫したゼミナール教育では、学生と教員との「ふれあい」語の合いを大切にしています。

二部教育の伝統

「ふれあい」語の合いを大切に

商学部第二部は、働きながら勉強を続けたいという社会人・勤労学生の意欲に応えるために創られた、道内では唯一の商学系夜間四年制の学部です。本学部では「大学が地域社会の一員として住民福祉や地域産業の発展に貢献すべきである」という建学以来の理念の下に、大学が地域社会で果すべき役割を自覚し、社会の多くの人々の教育要求に対して、全学的スタッフの協働体制で、社会人、生涯教育が実践されています。

職業的実践的の重視

専門教育では、経営学や会計学を主眼とする商学の広範な分野にわたる職業的実務教育が重視され、高度情報化社会に対応すべくコンピュータ教育にも力を注いでいます。また本学部教育の特徴の一つとして小人数教育が徹底されており、特に一年次から四年次までの一貫したゼミナール教育では、学生と教員との「ふれあい」語の合いを大切にしています。

多面的な学生の層

本学部の学生に関して特筆すべきことは、昼間部とは異なり、目的意識のはっきりとしたきわめて向学心の旺盛な

「ふれあい」語の合いを大切に

計学をメインとする商学の広範な分野にわたる職業的実務教育が重視され、高度情報化社会に対応すべくコンピュータ教育にも力を注いでいます。また本学部教育の特徴の一つとして小人数教育が徹底されており、特に一年次から四年次までの一貫したゼミナール教育では、学生と教員との「ふれあい」語の合いを大切にしています。

課外活動にも活躍

二部学生は課外活動でもなかなか活躍しています。例えば九一年度は自転車競技部の「リョウリョウ」や、彼等は日本最大の自転車レース第五回ツルノ北道道北北海道選手権に選出され健闘しました。スキー部のK君は世界クラスに選出され健闘しました。スキー部のK君は世界クラスに選出され健闘しました。

「ふれあい」語の合いを大切に

計学をメインとする商学の広範な分野にわたる職業的実務教育が重視され、高度情報化社会に対応すべくコンピュータ教育にも力を注いでいます。また本学部教育の特徴の一つとして小人数教育が徹底されており、特に一年次から四年次までの一貫したゼミナール教育では、学生と教員との「ふれあい」語の合いを大切にしています。

専門的職業人の育成

商学部は、このように、理論・実践の両面から教育が行われており、さらに、工場の見学、ケース・スタディ、実務能力を養成するための研究開発能力を育成する学部での「新しい商学の時代」の到来です。新しい時代の「新しい商学」の到来です。新しい時代の「新しい商学」の到来です。

学部の特性を反映した就職

商学部は二四年の伝統をもった実績のある学部で、先輩の活躍もあり、道内をはじめ優良企業からは高い評価を受けている。特に本学商学部は道内私大では初めて昭和四五年にコンピュータを導入、カリキュラムに反映され、多くの人材を養成している。

就職先は、学部の特色から流通業、金融、銀行業、生損保、製造業、教育、マスコミ、公益、サービス業など。最近では、時代の要望が強く、情報産業などにも多く採用されている。

上場企業、優良企業への就職が顕著で、人事担当者から「同窓会になる」とも言われている。本学には、資格を取るための講座を開設している。

資格取得者多数輩出

「ふれあい」語の合いを大切に

計学をメインとする商学の広範な分野にわたる職業的実務教育が重視され、高度情報化社会に対応すべくコンピュータ教育にも力を注いでいます。また本学部教育の特徴の一つとして小人数教育が徹底されており、特に一年次から四年次までの一貫したゼミナール教育では、学生と教員との「ふれあい」語の合いを大切にしています。



「ふれあい」語の合いを大切に

計学をメインとする商学の広範な分野にわたる職業的実務教育が重視され、高度情報化社会に対応すべくコンピュータ教育にも力を注いでいます。また本学部教育の特徴の一つとして小人数教育が徹底されており、特に一年次から四年次までの一貫したゼミナール教育では、学生と教員との「ふれあい」語の合いを大切にしています。

経営学 坂井ゼミナール

「フライング」を考えた、というのがゼミのテーマである。企業の構成要素をヒト・モノ・カネといふ具合に表現すると、導き出すためのトレーニングが重視される。その典型が論文の執筆である。三年生は基礎的理論をマスターした上でゼミ論文を、



1991年度坂井ゼミ一同

四年生は事例研究を含む卒業論文を、それぞれ完成しなければならぬ。年度末に「論文集」として発行されるまでは愚戦苦闘するが、その分仕上げの喜びは大きい。……とはいっても、論文だけのゼミでもない。企業見学もあれば、コンパや旅行もある。学生と教師が共に学び共に遊ぶゼミであり続けた。

(文責 坂井種次)

ゼミナール紹介

藤永ゼミは、会計学の理論的・実践的研究教育を目的として、一九七〇年(昭和四五年)に開設され、今年で二年になります。ゼミの基礎理論の研究から入る。ゼミナールは、簿記・会計の基礎理論の研究から入る。ゼミナールは、簿記・会計の基礎理論の研究から入る。

ゼミ合同地域調査



「ふれあい」語の合いを大切に

計学をメインとする商学の広範な分野にわたる職業的実務教育が重視され、高度情報化社会に対応すべくコンピュータ教育にも力を注いでいます。また本学部教育の特徴の一つとして小人数教育が徹底されており、特に一年次から四年次までの一貫したゼミナール教育では、学生と教員との「ふれあい」語の合いを大切にしています。

会計学 藤永ゼミナール

「ふれあい」語の合いを大切に

計学をメインとする商学の広範な分野にわたる職業的実務教育が重視され、高度情報化社会に対応すべくコンピュータ教育にも力を注いでいます。また本学部教育の特徴の一つとして小人数教育が徹底されており、特に一年次から四年次までの一貫したゼミナール教育では、学生と教員との「ふれあい」語の合いを大切にしています。

インターゼミ大会に参加して

「ふれあい」語の合いを大切に

計学をメインとする商学の広範な分野にわたる職業的実務教育が重視され、高度情報化社会に対応すべくコンピュータ教育にも力を注いでいます。また本学部教育の特徴の一つとして小人数教育が徹底されており、特に一年次から四年次までの一貫したゼミナール教育では、学生と教員との「ふれあい」語の合いを大切にしています。

人文学部

人間尊重の立場にたつ
少数民族教育をめざして

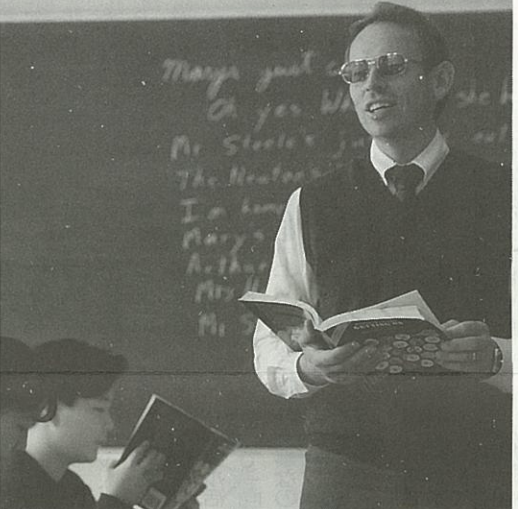
人文学部は、人間科学科と英語英米文学科の二学科構成で、一九七七年に発足した。今春でちょうど十五周年を迎えることになる。この間、人文学部は、人間を軸とする人文学系、社会系諸科学の新たな総合化という学部教育の基本課題に即して、専門性と総合性の統一の育成をめざすカリキュラムの充実や、セミナー・実験実習等の双方向的な少人数による学習システムの定着等をめざす努力してきた。次に、より具体的な中身を学科ごとにおきたい。

人間科学科

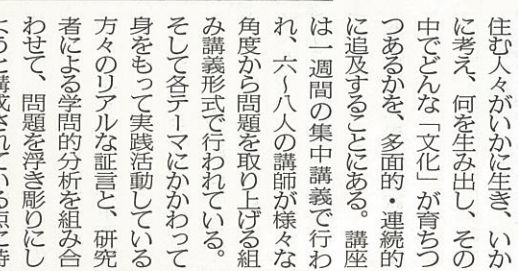
人間科学科は、人間科学の名称をもつ学部学科としては全国で第三番目にスタートし、今年で十六年目を迎える。この間、「真に人間尊重の立場に立つ総合的な人間研究」を目標として掲げ、総合への努力を継続しながらも、他方では、当初の「社会生活と人間(社会学・社会福祉・歴史を含む)」「人間の形成と発達(心理学・教育学)」「思想・文化と人間」(哲学思想・北方文化)の授業科目群を、学生の専門的・系統的学習を保障する三コース制へと改変するなど、カリキュラムの整備・改革に努めてきた。

英語英米文学科

本科は、二つの科目群で構成される。英語英米文学科は、二つの科目群で構成される。英語英米文学科は、二つの科目群で構成される。



地域に根差した公開講座
『北海道文化論』



本学では開学以来「開かれた大学」を目指して、大学の知的蓄積を地域に公開する目的で様々な公開講座を実施してきた。中でも人文学部の「公開講座・北海道文化論」は、北海道を文化論的視点から多角的に取り上げるユニークな講座として注目を集めている。この講座は人文学部に開講された北海道研究科目の一つで、既に十三回を重ねた。講座の目的は、北海道という特定地域で生活する人間の営みに視点を据え、北海道に住む人々がいかにか生き、いかにか考え、何を生み出し、その中でどんな「文化」が育ちつつあるかを、多面的・連続的に追及することにある。講座は一週間の集中講義で行われ、六、八人の講師が様々な角度から問題を取り上げる組み立てられた。講座形式で行われている。そして各テーマにかかわって身をもって実践活動している方々のリアルな証言と、研究者による学問的分析を組み合わせて、問題を浮き彫りにしよと構成されている点に特徴がある。

人文学部両学科とも
好調な就職状況

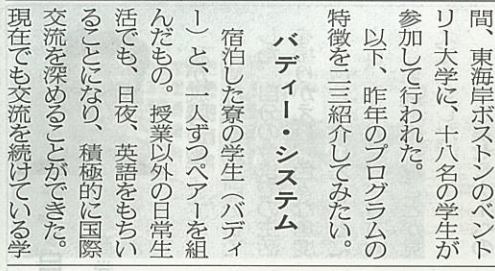
平成三年度の人文学部の就職率は、人間科学科 英語英米文学科共、昨年を上回って推移したが、中でも英語英米文学科の就職率が最も高かった。公務員、教員を始めたことが目立った。

「国際的視野を求めて」
海外研修十年目を迎える

アメリカの大学で英語集中講座を始めて、今年で十年目になる。昨年は八月の約四週間、東海岸ボストンのベントリー大学に、十八名の学生が参加して行われた。

●現実とのふれあいで学生が変わる●
実験実習教育

人間科学科が特に実験実習教育に力を入れていることは、専門と資格取得に関わる科目の中に、教育実習を含めると六つの実験実習を配置していること示されている。心理学実験実習は、二年次のAと三年次のBに分かれている。Aではポリグラフなどの器械を用いた実験とロールシャッハなどの心理検査を行い、Bではカウンセリングや感受性テスト・心理劇など、臨床中心の実習を行っている。

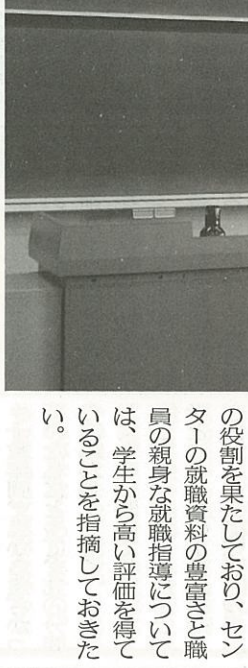


アメリカの大学で英語集中講座を始めて、今年で十年目になる。昨年は八月の約四週間、東海岸ボストンのベントリー大学に、十八名の学生が参加して行われた。以下、昨年のプログラムの特徴を三紹介してみたい。

学際的な地域研究
「アメリカ研究会」

一九八三年に、学際的「地域研究会」として結成された。例年は四五回をこなす。参加者も、他の大学や研究機関などを含めて延べ五〇〇名に達している。一九八八年には、東京大学アメリカ研究資料センターの年報で全国に紹介され、北海道の私立大学で唯一のアメリカ研究会として、関心を集めている。この間、少数民族問題をテーマとする共同研究の成果を、論文集や翻訳書の形で出版し、好評を得ている。道内でも、道内アメリカ学会、「道歴研」など共同研究会を持ち、交流を図っている。一九九〇年に、立教大学の富田虎男教授を招いて、アイヌとインディアンをテーマとする「少数民族歴史シンポジウム」を開催し、「道新」でも大きく報道され、道民の関心を集めた。

就職講座



札幌学院大学就職部

